

事業

1 平成21年度事業報告

一般会計事業	121,291,326 円
--------	---------------

1 文化事業 19,253,627 円

事務局事業

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援した。

(1) 主催事業 11,790,122 円

ミニライブコンサート (258,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出すとともに、市役所を訪れた市民が気軽に音楽を楽しむコンサートを開催した。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (2,000,945)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図った。

・第8回にいがた総おどり祭(下駄総踊り)

主 催 新潟総踊り祭実行委員会ほかとの共催

開催日 平成21年9月19日～23日 5日間

場 所 万代シティ、駅南けやき通ほか

来場者 280,000人

・古典芸能を楽しむ会

主 催 市山会ほかとの共催

開催日 平成21年12月6日

場 所 市民芸術文化会館 能楽堂

入場者 300人

文化講演会 (541,685)

著名な文芸作家を講師に招き、講演会を開催した。

開催日 平成21年11月23日

場 所 市民プラザ

講 師 阿刀田 高

演 題 「アイデアを探せ」

入場者 300人

坂口安吾顕彰事業 (8,989,492)

新潟市が管理する安吾 風の館で下記展示会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関連資料の調査研究を行った。

・安吾^{たの}の楽しみ Part1・Part2

開催日 平成 21 年 7 月 11 日～平成 21 年 11 月 15 日 (Part1)
平成 21 年 11 月 21 日～平成 22 年 3 月 24 日 (Part2)

場 所 安吾 風の館(旧市長公舎)

内 容 安吾の人間性から作品に触れてもらうきっかけとして、安吾がたのしんだこと、心惹かれたこと、興味をもったことを紹介した。(Part1: ゴルフ・野球・釣り、Part2: 囲碁・将棋・映画)

入場者 Part1 : 4,895 人 Part2 : 1,363 人

(2) 共催・協賛事業 3,150,630 円
共催事業

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第 57 回新潟市芸能まつり (2,500,000)
開催日 平成 21 年 10 月 4 日～11 月 26 日 入場者 11,995 人
- ・第 41 回新潟市美術展 (350,000)
開催日 前期:平成 21 年 10 月 28 日～11 月 1 日 / 後期:平成 21 年 11 月 4 日～11 月 8 日
入場者 7,894 人
- ・第 23 回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)
開催日 平成 21 年 8 月 23 日 入場者 200 人

(3) 表彰顕彰事業 115,570 円
新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6 部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2 部門
- ・全国水墨画美術展 1 部門
- ・北都・色いろいろ大賞フォトコンテスト 1 部門
- ・二科新潟展 1 部門
- ・新潟県工芸会展 1 部門

(4) 支援助成事業 4,197,305 円

市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の 2 期に分け、上限 30 万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申請件数	交付件数	交付金額
平成 21 年度 上 期	平成 21 年 4 月 1 日から 平成 21 年 9 月 30 日まで	19 件	14 件	2,745,000 円
平成 21 年度 下 期	平成 21 年 10 月 1 日から 平成 22 年 3 月 31 日まで	7 件	7 件	1,390,000 円
合 計		26 件	21 件	4,135,000 円

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 102,037,699 円

音楽文化会館管理事業

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

平成 21 年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

ホールの管理

練習室(13 室)の管理

平成 21 年度音楽文化会館利用者数 180,196 人

3 会議の開催状況

(1) 理事会

第 1 回 平成 21 年 5 月 27 日

- ・平成 20 年度市民芸術文化会館会計補正予算
- ・平成 20 年度事業報告、収支決算

第 2 回 平成 22 年 3 月 25 日

- ・平成 22 年度事業計画、収支予算
- ・規程、規則の一部改正(給与規程、職員就業規則)
- ・評議員の選任
- ・専務理事の選任

(2) 評議員会

第 1 回 平成 21 年 5 月 27 日

- ・助成事業審査員の互選
- ・平成 20 年度市民芸術文化会館会計補正予算(報告)
- ・平成 20 年度事業報告、収支決算(報告)

第 2 回 平成 22 年 3 月 25 日

- ・平成 22 年度事業計画、収支予算
- ・役員 of 選任
- ・規程、規則の一部改正(給与規程、職員就業規則)(報告)

1 文化事業(指定管理事業) 493,351,420 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図った。

なお、平成 21 年度から、指定管理者として新たな 5 年間の指定期間のスタートにとともに、音楽・演劇・舞踊の各分野で鑑賞事業を中心にさまざまな意欲的な事業を行い、更なる愛好者の拡大と文化事業の発展を図った。

(1) 音楽事業 175,329,619 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

特に 21 年度は連携する札幌・京都・福岡の公立コンサートホールとの共同企画「オーストリア・ハンガリー・ハイドンフィルハーモニー」を中心とした新事業「りゅーとぴあハイドン・ツィクルス」() を開催し、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし、聴衆の更なる拡大を図った。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

鑑賞事業 (145,545,106)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 53 回 平成 21 年 4 月 19 日(日) ~ ブラームス : 交響曲第 4 番 ~

第 54 回 6 月 14 日(日) ~ マラー : 交響曲第 6 番「悲劇的」 ~

第 55 回 9 月 6 日(日) ~ シベリウス : 劇音楽「テンペスト」 ~

第 56 回 11 月 8 日(日) ~ シューマン : 交響曲第 2 番 ~

第 57 回 平成 22 年 2 月 6 日(土) ~ オルフ : 世俗カンタータ《カルミナ・ブラーナ》 ~

第 58 回 3 月 21 日(日) ~ ピアソラ : バンドネオン協奏曲 ~

・コトホールへようこそ~わくわくキッズコンサート~ 5 回公演 平成 21 年 11 月 10 日(火)・11 日(水)

・特割コンサート 平成 21 年 11 月 11 日(水)

・東響定期+

日本のオーケストラシリーズ No.1 山形交響楽団 平成 21 年 7 月 5 日(日)

オーストリア・ハンガリー・ハイドン・フィルハーモニー 平成 21 年 12 月 1 日(火)

- ピアノ・リサイタルシリーズ -

シリーズ 21 アレクサンダー・コ布林 平成 21 年 9 月 27 日(日)

- アレクサンダー・コプリン スタディー・コンサート 平成 21 年 9 月 26 日(土)
- 歌の花束シリーズ -
- ・シリーズ 17 にほんのうたのコンサート 平成 21 年 10 月 25 日(日)
- カルテットシリーズ -
- シリーズ 18 クアルテット・エクセルシオ 平成 21 年 9 月 29 日(火)スタジオ A
- シリーズ 19 クアルテット・エクセルシオ 平成 21 年 10 月 20 日(火)スタジオ A
- シリーズ 20 クアルテット・エクセルシオ 平成 21 年 10 月 30 日(金)スタジオ A
- オルガンシリーズ -
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.7 平成 21 年 6 月 6 日(土)
- 山本真希リサイタルシリーズ No.8 平成 21 年 11 月 14 日(土)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.9 平成 22 年 3 月 6 日(土)
- ・クリストフ・マントゥー オルガン・リサイタル 平成 21 年 9 月 10 日(木)
- ・クリストフ・マントゥー オルガン・マスタークラス 平成 21 年 9 月 11 日(金)
- ・廣江理枝オルガン・リサイタル 平成 21 年 7 月 10 日(金)
- ・オルガン・クリスマスコンサート 平成 21 年 12 月 18 日(金)
- ホール体験事業 -
- ・1 コインコンサート
- Vol.39「オルガン」 平成 21 年 4 月 10 日(金)
- Vol.40「ヴァイオリン」 平成 21 年 5 月 15 日(金)
- Vol.41「声楽」 平成 21 年 6 月 2 日(火)
- Vol.42「タンゴ・トリオ」 平成 21 年 9 月 16 日(水)
- Vol.43「邦楽」 平成 21 年 10 月 8 日(木)
- Vol.44「オーボエ」 平成 21 年 12 月 8 日(火)
- ・プライム・クラシック 1500
- Vol.5「ヴァイオリン&ピアノ」 平成 21 年 5 月 15 日(金)
- Vol.6「オーボエ&ピアノ」 平成 21 年 12 月 8 日(火)
- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -
- ・りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2010 平成 22 年 3 月 25 日(木)
- 「Viva! ローマ」
- その他 -
- 茂木大輔のオーケストラコンサート No.5 平成 21 年 5 月 31 日(日)
- ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ 2 回公演 平成 22 年 1 月 9 日(土)
- ・生で聴く「のだめカンタービレの音楽会」 平成 22 年 2 月 28 日(日)
- ・ブーニン・ピアノリサイタル(共催事業) 平成 21 年 11 月 4 日(水)
- ・中村紘子・ピアノリサイタル(共催事業) 平成 21 年 12 月 9 日(水)
- ・にいがたニューイヤー・ガラコンサート(共催事業) 平成 22 年 1 月 11 日(月)
- 育成・普及事業 (29,784,513)
- オルガン事業 -
- ・オルガン普及プログラム
- りゅーとぴあオルガン講座

入門講座	
市民オルガン講座	ポジティブオルガン使用の半年コース
基礎講座	
ジュニアコース	ポジティブオルガン使用の半年コース
一般コース	ポジティブオルガン使用の1年コース
応用講座	
応用コース	大オルガン使用の1年コース
特別講座	平成22年3月30日(火)
中間発表会	平成21年10月17日(土)
修了演奏会	平成22年3月13日(土)
オルガン・サマーデイズ	平成21年8月29日(土)・30日(日)
ニューイヤー・オルガンスペシャル	平成22年1月16日(土)・17日(日)
オルガン音楽隊	平成21年11月28日(土)新潟市美術館 平成21年12月11日(金)臨港病院
思いっきりオルガン演奏体験	平成22年3月31日(水)
- ジュニア等育成事業 -	
・ いがた東響コーラス	平成21年7月～平成22年2月
・ ジュニアオーケストラ教室育成事業	
第28回定期演奏会	平成21年9月20日(日)
クリスマス演奏会	平成21年12月23日(水)音文
水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート	2回公演 平成21年8月29日(土)新津美術館
・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
・ ジュニア合唱団育成事業	
第19回定期演奏会	平成21年7月19日(日)
新潟県少年少女合唱団合同演奏会	平成21年8月22日(土)長岡
水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート	平成21年8月29日(土)新潟市博物館
・ ジュニア邦楽教室育成事業	
第14回定期演奏会	平成21年7月26日(日)音文
水と土の芸術祭開催記念アウトリーチ・ミニコンサート	平成21年8月23日(日)新潟市美術館
・ ジュニア音楽教室第6回スプリングコンサート	平成22年3月28日(日)
- その他 -	
・ 市民音楽講座(おんぶんりレーコンサート)	平成21年11月21日(土)・22日(日)・27日(金)音文
・ コンサートホール企画連絡会議	平成21年7月16日(木)・17日(金)札幌 平成22年2月1日(月)・2日(火)東京

(2) 演劇事業 104,982,858円
 多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演

劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指した。また、プレ・シアタートーク、プレ講座、ミニ講座などの普及活動を図り、観客層の開拓、愛好者の掘り起しに努めた。演劇スタジオ APRICOT や能楽堂シェイクスピアシリーズを通して優れた演劇創造に必要な人材を育んだ。

鑑賞事業 (96,053,347)

- ・ファッション・コメディ「キサラギ」1回公演 平成21年4月28日(火)
- ・白石加代子「百物語」1回公演 平成21年6月13日(土)
- ・「ふるまち新潟をどり」2回公演 平成21年6月21日(日)
- ・「炎の人」2回公演 平成21年7月4日(土)・5日(日)
- ・「コンドルズ」1回公演 平成21年8月22日(土)
- ・ミュージカル「天翔ける風に〜「鷹」・罪と罰より」1回公演 平成21年9月6日(日)
- ・ギンギラ太陽'S「翼をください!さらばYS-11」1回公演 平成21年10月15日(木)
- ・「サロメ」1回公演 平成21年11月18日(水)
- ・「錦繡」2回公演 平成21年11月28日(土)・29日(日)
- ・「海をゆく者」2回公演 平成21年12月18日(金)・19日(土)
- ・劇団棧敷童子「海獣」1回公演 平成21年12月23日(水)
- ・「ジョン・ガブリエル・ボルクマンと呼ばれた男」2回公演 平成22年2月6日(土)・7日(日)
- ・阿佐谷スパイダース「アンチクロックワイズ ワンダーランド」2回公演 平成22年3月3日(水)・4日(木)
- ・二兎社「かたりの椅子」1回公演 平成22年3月11日(木)
- ・人形浄瑠璃「文楽」2回公演 平成22年3月15日(月)
- ・劇団本谷有希子「来来来来」(共催事業)1回公演 平成21年8月18日(火)
- ・「春風亭小朝独演会」(共催事業)1回公演 平成21年9月16日(水)
- ・「なにわバタフライ N.V」(共催事業)1回公演 平成22年3月16日(火)

育成・普及事業 (8,929,511)

- ・演劇スタジオキッズコースAPRICOT 夏季公演「赤毛のアン」平成21年8月15日(土)・16日(日)
春季公演「ドッベル」平成22年3月24日(水)・25日(木)
- ・APRICOT 演劇体験ワークショップ 平成21年4月12日(日)
平成21年9月5日(土)
- ・プレ・シアタートーク 「コンドルズ」勝山康晴、石淵聡 平成21年5月30日(土)
「ギンギラ太陽'S」大塚ムネト 平成21年9月2日(水)
- ・文楽ミニ講座 平成22年1/24(日)・2/7(日)・3/7(日)
- ・義太夫講座 平成22年2/6(土)・2/13(土)・2/20(土)・2/21(日)

(3) 能楽事業 37,197,637円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催した。

鑑賞事業 (30,064,453)

- ・「春の能楽鑑賞会」(観世流)2回公演 平成21年4月11日(土)
- ・「秋の能楽鑑賞会」(宝生流)2回公演 平成21年10月10日(土)

- ・「茂山狂言公演」 2回公演 平成21年7月17日(金)・18日(土)
- ・「野村万作・萬斎狂言公演」 3回公演 平成21年8月5日(水)・6日(木)
- ・「りゅーとぴあ劇場狂言」 2回公演 平成21年12月26日(土)・27日(日)

育成・普及事業 (7,133,184)

- ・「能楽基礎講座特別版(馬場講師)の愉しみ」3回 平成21年4/21(火)・7/14(火)・10/21(水)
スペシャル公演「黒塚」1回 平成22年3月14日(日)
- ・能楽基礎講座(山崎講師)1回 平成21年6月6日(土)
- ・観世流能楽鑑賞教室「はじめてのお能」(共催事業)1回公演 平成21年8月29日(土)
- ・観世流能楽鑑賞教室「舞の習い」(共催事業)
平成21年5/29(金)・6/14(日)・6/20(土)・6/26(金)・7/3(金)・
7/19(日)・7/24(金)・8/2(日)・8/21(金)・8/28(金)
- ・「さわってみよう能の世界」(共催事業)1回公演 平成22年3月29日(月)
- ・「秋の能楽鑑賞会」プレ講座 平成21年9月26日(土)
- ・「春の能楽鑑賞会」プレ講座 平成22年3月21日(日)

(4) 新潟発創造事業 131,072,778 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信した。

りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズでは「テンペスト」を公演、新潟で4回公演、東京で4回公演を実施した。シェイクスピア研究者などから大きな好評が得られ、今後の企画展開が期待できる。3月からは平成22年度に実施する「ハムレット」ヨーロッパ・ツアー公演に向けての準備・稽古を行なった。

また、平成20年度新潟日報文化賞、同年第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞などを受賞、平成25年まで活動が延長された金森穰(舞踊部門芸術監督)とレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismは、6月に新国立劇場との共同制作により「ZONE～陽炎 稲妻 水の月」を新潟・東京で公演。好評な見世物小屋企画の第2弾「Nameless Poison～黒衣の僧」をチェーホフ国際演劇祭との共同制作で11月に新潟・東京、他3都市で上演した。また海外公演は10月に台湾公演を実施。9月には次世代のダンサーを育成するためNoism 付属の研修生カンパニーNoism2を設立。これに伴い正式メンバーで構成されるNoism1と、研修生が所属するNoism2の新体制をスタートさせた。

- ・りゅーとぴあ 能楽堂シェイクスピアシリーズ「テンペスト」
新潟公演(りゅーとぴあ 能楽堂) 4回公演 平成21年7月9日(木)～12日(日)
東京公演(鎌仙会能楽研修所) 4回公演 平成21年7月18日(土)～20日(月)
- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー“ Noism09 ”(*9月から Noism1 と改める)
りゅーとぴあ・新国立劇場 共同制作「ZONE～陽炎 稲妻 水の月」(第11作公演)
新潟公演 平成21年6月5日(金)～7日(日)
東京公演 平成21年6月17日(水)～21日(日)
Noism メンバー振付ワークショップ公演 平成21年7月4日(土)・5日(日)
見世物小屋企画第2弾「Nameless Poison～黒衣の僧」(第12作公演)
新潟公演 平成21年11月20日(金)～23日(日)
静岡公演 平成21年12月19日(土)・20日(日)

愛知公演	平成 21 年 12 月 23 日(水)・24 日(木)
東京公演	平成 22 年 1 月 22 日(金)～27 日(水)
松本公演	平成 22 年 1 月 31 日(日)
新潟凱旋公演	平成 22 年 3 月 1 日(月)～14 日(日)
台湾公演「NINA - 物質化する生け贄 (ver.black)」	平成 21 年 10 月 16 日(金)～18 日(日)
Noism2 春の定期公演	平成 22 年 3 月 27 日(土)・28 日(日)
Noism こどものためのからだワークショップ (新潟市立山の下小学校受託事業)	
山の下小学校	平成 21 年 7 月 14 日(火)
Noism こどものためのからだワークショップ (新潟市立青山小学校受託事業)	
青山小学校	平成 22 年 2 月 9 日(火)
Noism こどものためのからだワークショップ (財団法人新潟県文化振興財団受託事業)	
見附市文化ホール アルカディア中ホール	平成 22 年 3 月 20 日(土)

- (5) 共催事業 1,808,895 円
 芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図ったほか、文化団体との共催による事業を行った。
- ・第 57 回新潟市芸能まつり 平成 21 年 10 月～11 月音文ほか
 - ・新潟歌舞伎みなと座 通年活動
 - (発表公演)「番町皿屋敷」 平成 22 年 1 月 23 日(土)・24 日(日)
 - ・「劇場で踊ろう! ダンスキッズ大集合」 平成 22 年 1 月 10 日(日)
 - ・「兼続」(新作能「兼続」新潟公演実行委員会) 平成 21 年 12 月 15 日(火)
- (6) 広報営業事業 20,839,240 円
 公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図った。
 また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図った。
- ・広報・営業事業
 - ・音楽広報事業
 - ・演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 524,920 円
 次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査した。
- (8) 事業企画費 10,458,575 円
 音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施した。また、専属オルガニストを引き続き設置した。
- ・芸術監督(音楽部門・演劇部門・舞踊部門)
 - ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理事務費 11,136,898 円
 事業実施に係る管理諸経費(託児サービス・チケットシステム・コピー代・票券研修・郵便料他)

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 601,338,699 円

市民芸術文化会館管理事業

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 21 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

3 付帯事業 41,582,200 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

平成21年度市民芸術文化会館入館者数 337,011 人

1 文化事業(指定管理事業) 46,419,447 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 311,505 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、NHKの大河ドラマ「天地人」に合わせ、直江兼続関係の文書資料を展示した。

(2) 企画展示事業 35,059,551 円

市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を4本開催し、また、22年度開催予定の企画展示の準備業務を行った。

「五姓田」 (3,474,269)

新潟と五姓田派に関する調査の成果を展示・紹介した。展覧会の反響と新潟日報紙の効果的な記事とにより、新たな情報が寄せられ、未見の資料の所在も明らかになった。ほぼ同時期に新潟県立近代美術館で開催された「特別展・油絵事始め」との相互協力で効果的な普及ができた。関連事業として、講演会や写真のような絵を描く体験プログラムを実施した。

開催期間 平成21年4月25日～6月7日 38日間

観覧者数 3,869人(うち有料観覧者 2,678人、無料観覧者 1,191人)

「蒲原平野の20世紀」 (7,777,089)

「水と土の芸術祭」の企画として開催した。新潟市域における近世から近代初頭にかけての土地改良、農政の歴史を紹介した。関連イベントとしては、講演会のほか、子供向けの体験プログラムとして「足踏み水車をまわしてみよう！キッツオブネを押してみよう！」を毎週土曜日に開催した。

開催期間 平成21年7月18日～8月30日 39日間

観覧者数 6,007人(うち有料観覧者 4,402人、無料観覧者 1,605人)

「ハルビン金代文化展」 (19,000,855)

新潟市とハルビン市の友好都市提携30周年を記念して開催した。哈爾濱市阿城金上京歴史博物館の所蔵品を中心に展示し、出光美術館所蔵三上次男氏コレクションの金代陶磁器など国内資料も合わせて紹介した。関連イベントとして、記念講演会や新潟大学と共催の記念シンポジウムをはじめ、中国の歴史や文化に触れる体験や、協力者である中国南方航空を利用した金上京会寧府遺跡の見学会などを行った。また、関連展示として旧税関を会場に「ウラジオストクの写真家」展を開催した。

なお、展示紹介部分は文化庁美術館博物館活動基盤整備支援事業の採択を得て実施した。

開催期間 平成21年9月12日～11月8日 49日間

観覧者数 5,854人(うち有料観覧者 3,837人、無料観覧者 2,017人)

第6回むかしのくらし展「マチとムラの消防」 (3,498,221)

小学校の単元と関連した企画。新潟市域の消防の歴史をテーマとして、火を利用する生活道具をはじめ消防関係資料を展示し、江戸時代から現代までの消防の変遷を紹介した。

また、腕用ポンプに触れたり、消防士に扮して消防車の前で記念撮影などの子供向けの関連イベントを実施した。

開催期間 平成21年11月21日～平成22年1月31日 55日間

観覧者数 4,707人(うち有料観覧者 1,267人、無料観覧者 3,440人)

その他 (1,309,117)

平成22年度に開催する企画展「砂丘物語原画展」の印刷物作成ほかの準備を行った。

(3) 教育普及事業 725,779円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムや茶の間の押入スペースを使った展示(展示替え5回/年)を行ない、好評だった。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うことで対応した。また、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座を開講するとともに、大学生の実習を受入れ講義指導を行った。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広い年齢層や個別のニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

- ・博物館講座 全8回、体験講座 全2回、「天地人」講座 全11回
- ・館長講座 全4回、夏休みこども講座 全2回、 など

ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、活動を支援した。そのほか、税関140周年誕生祭などボランティア主催の自主企画などを実施した。

(4) 施設普及事業 2,657,882円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

「新収蔵品展」・「収蔵品展」の開催

「新収蔵品展」では、今年度に寄贈いただいた資料の中から主なものを選び紹介した。そのほか当館で一時的に保管することになった木造阿弥陀如来立像(西永寺・新潟県指定文化財)、大沢谷内遺跡・駒首瀧遺跡・馬場屋敷遺跡出土木簡など、新潟市域の貴重な文化財を特別に展示した。

「収蔵品展」は、当館が所有する資料を市民に公開し、理解を深めてもらうことを目的に実施するもので、今年度は「絵図が語るみなと新潟」と題し、沼垂町や栗の木川、新潟町の堀や浜を中心とした絵図を展示した。

「新収蔵品展」開催期間 平成 22 年 2 月 13 日～3 月 7 日 (20 日間)

「収蔵品展」開催期間 平成 22 年 3 月 20 日～(4 月 11 日) (20 日間)

地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の P R を目的に以下の事業を開催した。

堀と桜のコンサート (4/12)、夕涼みコンサート (8/2)

みなと・しもまち・川まつり 2009 (8/23)、新潟みなと水遊記 (7/18～9/27)

みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員向けに提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき (中央区大畑地区)・館長バスツアー (秋葉区)・館長講演会を行った。

(5) 調査研究事業 1,970,235 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、そうした成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 6 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 5,694,495 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、I P M (総合的有害生物管理) に則った各種の保存環境管理を行った。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録するとともに、美術資料の表装等を行った。

2 文化施設管理受託事業 (指定管理事業) 184,927,004 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館 (常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎
史跡（石段、石積み、石庫等）

3 付帯事業 722,876 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

物販等ショップの運営

自動販売機設置

平成21年度歴史博物館入館者数 126,996 人

2 平成22年度事業計画

一般会計事業

123,176,000 円

1 文化事業 19,005,000 円

事務局事業

新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。

(1) 主催事業 9,345,000 円

ミニライブコンサート (288,000)

新潟市内の演奏家の発表の場をつくり出し、市役所を訪れた市民に気軽に音楽を楽しんでもらう。

開催日 毎月第3水曜日 午後0時20分～午後0時50分

場 所 市役所本庁舎1階市民ロビー

伝統文化ふれあい事業 (2,001,000)

新潟の歴史と風土に培われてきた伝統文化、伝統芸能を紹介することで、それらを次世代に継承し、各団体の活性化を図る。

文化講演会 (501,000)

文芸作家らを講師に招き、講演会を開催する。

坂口安吾顕彰事業 (6,555,000)

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム(HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(2) 共催・協賛事業 3,351,000 円

共催事業 (3,150,000)

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

・第58回新潟市芸能まつり (2,500,000)

・第42回新潟市美術展 (350,000)

・第24回新潟市郷土芸能発表会 (300,000)

協賛事業 (201,000)

市民が自発的に行う企画性に富んだ、創造的文化事業に対して資金的な支援をする。

・新潟県音楽コンクール「第45回記念ガラコンサート(仮称)」(100,000) ほか

(3) 表彰顕彰事業 231,000 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。また、全国大会で最優秀賞を受賞した個人・団体や全国大会に出場する個人・団体にそれぞれお祝い金、奨励金を交付し、底辺の拡大を図

る。

・財団賞の交付 新潟市美術展ほか

- (4) 支援助成事業 6,078,000 円
市民の自発的な文化活動の活性化と新潟市の文化基盤の充実を目的として、市民が行う文化事業に対して、申請時期を上期・下期の2期に分け、上限30万円を助成金を交付する。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 104,171,000 円

音楽文化会館管理事業

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成10年度より当財団がその管理を受託している。

平成22年度も市民芸術文化会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

ホールの管理

練習室(13室)の管理

1 文化事業(指定管理事業) 459,606,000 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、りゅーとぴあと音楽文化会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術等を発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 163,391,000 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらに、オルガンの活用事業、オペラ・コンサート、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努める。

特に、昨年度にハイドン没後200年を記念して開始した作曲家ツィクルスを継続し、22年度はハイドンに続く音楽史上の巨匠モーツァルトをテーマに「りゅーとぴあモーツァルト・ツィクルス」()を開催、新しい視点による企画で聴衆の関心を引き起こし幅広い聴衆の拡大を図る。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図る。

なお、新潟市が主催するクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ新潟」が4月30日～5月1日に開催されるため、財団も実行委員会に参加し、主催事業と連携を取りつつ合わせて広範な集客を図る。

鑑賞事業 (128,334,000)

- 東京交響楽団シリーズ -

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第59回	平成22年5月9日(日)	～オール邦人作品プログラム～
第60回	7月10日(土)	～ブルックナー：テ・デウム～
第61回	9月5日(日)	～ショスタコーヴィチ：交響曲第1番～
第62回	11月7日(日)	～ベートーヴェン：交響曲第4番～
第63回	平成23年2月27日(日)	～スタンフォード：交響曲第3番～
第64回	3月13日(日)	～モーツァルト：交響曲第41番～

・コントホールへようこそ～わくわくキッズコンサート～5回公演 平成22年11月9日(火)・10日(水)

・特割コンサート 平成22年11月10日(水)

・東響定期+

茂木大輔のオーケストラコンサート 平成22年11月28日(日)

- ジュエリー・オーケストラシリーズ -

・シリーズ No.4 平成22年9月

- ピアノ・リサイタルシリーズ -
 - ・シリーズ 22 クリスチャン・ツィメルマン
シリーズ 23

平成 22 年 6 月 6 日(日)
平成 22 年 11 月

- 歌の花束シリーズ -
 - シリーズ 18 モーツァルトの歌曲とオペラ

平成 22 年 10 月

- カルテットシリーズ -
 - シリーズ 20 クァルテット・エクセルシオ

平成 23 年 1 月 スタジオ A

- オルガンシリーズ -
 - ・山本真希リサイタルシリーズ No.10
 - 山本真希リサイタルシリーズ No.11
 - ・オルガン・リサイタル&マスタークラス
 - ・オルガン・クリスマスコンサート
 - ・オルガン・オーダーコンサート

平成 22 年 8 月
平成 23 年 3 月
平成 23 年 2 月
平成 22 年 12 月 18 日(土)
随時・通年

- りゅーとぴあオペラ劇場シリーズ -
 - ・りゅーとぴあオペラ劇場オペラ・コンサート 2011

平成 23 年 3 月

- ホール体験事業 -
 - ・ 1 コインコンサート
 - Vol.45 「声楽」
 - Vol.46 「ヴァイオリン」
 - Vol.47 「オルガン」
 - Vol.48 「ギター」
 - Vol.49 「管楽器」
 - Vol.50 「ピアノ」
 - ・ プライム・クラシック 1500
 - Vol.7「ヴァイオリン&ピアノ」
 - Vol.8
 - ・ 1 コイン・ガラコンサート

平成 22 年 4 月 7 日(水)
平成 22 年 5 月 28 日(金)
平成 22 年 6 月 25 日(火)
平成 22 年 9 月
平成 22 年 10 月
平成 22 年 11 月

平成 22 年 5 月 28 日(金)
平成 22 年 9 月
平成 22 年 9 月 8 日(水)

- その他 -
 - ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「お年玉コンサート」
 - ・宮川彬良とアンサンブル・ベガ「ニューイヤー・コンサート」
 - ・カルテット・スピリタス・リサイタル

平成 23 年 1 月 8 日(土)
平成 23 年 1 月 8 日(土)
平成 22 年 9 月 8 日(水)

- 育成・普及事業 (35,057,000)
- オルガン事業 -

・オルガン普及プログラム

りゅーとびあオルガン講座

入門講座

市民オルガン講座

ポジティブオルガン使用の半年コース

基礎講座

ジュニアコース

ポジティブオルガン使用の半年コース

一般コース

ポジティブオルガン使用の1年コース

応用講座

応用コース

大オルガン使用の1年コース

オルガン・サマーデイズ

平成22年8月

ニューイヤー・オルガンスペシャル

平成23年1月

オルガン音楽隊

随時・通年

- ジュニア等育成事業 -

・にいがた東響コーラス

平成22年4月～平成22年7月

・ジュニアオーケストラ教室育成事業

第29回定期演奏会

平成22年9月19日(日)

クリスマス演奏会

平成22年12月23日(木)音文

・ジュニアオーケストラ・フェスティバル2010

平成22年8月20日(金)～8月22日(日)

・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会

通年

・ジュニア合唱団育成事業

第20回定期演奏会

平成22年7月18日(日)

新潟県少年少女合唱団合同演奏会

平成22年8月21日(土)見附

・ジュニア邦楽教室育成事業

第15回定期演奏会

平成22年8月1日(日)音文

・ジュニア音楽教室第7回スプリングコンサート

平成23年3月27日(日)

- その他 -

・市民音楽講座

通年

・コンサートホール企画連絡会議

通年

(2) 演劇事業 97,365,000 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、劇場製作の作品及び小劇場系の演劇公演や伝統芸能などの様々な舞台芸術を開催し、賑わいのある劇場空間の創造と観客の定着を目指す。また、演劇スタジオ APRICOT やプレ・シアタートークを通して優れた演劇創造に携わる人材を育て、また演劇愛好者の拡大を図る。

鑑賞事業 (87,288,000)

・森山未来「カフカの「変身」」1回公演

平成22年4月13日(火)

・「ナンシー」1回公演

平成22年6月21日(月)

・大衆芸能シリーズ「壱弐参之笑」1回公演

平成22年8月2日(月)

・ナイロン100 2回公演

平成22年8月4日(水)・5日(木)

・ホメロス「イリアス」1回公演

平成22年9月25日(土)

- ・「春風亭小朝独演会」(共催事業) 1 回公演 平成 22 年 10 月 1 日(金)
- ・井上靖「獵銃」2 回公演 平成 22 年 11 月上旬
- ・「売らいでか! -売ります-」 1 回公演 平成 23 年 1 月 6 日(木)・7 日(金)
- ・白石加代子「百物語」 1 回公演 平成 23 年 1 月下旬
- ・「流れ姉妹シリーズ」 2 回公演 平成 23 年 2 月 26 日(土)・27 日(日)
- ・大衆芸能シリーズ(落語版) 平成 22 年 11 月
- ・「ふるまち新潟をどり」 2 回公演 平成 22 年 6 月 20 日(日)

育成・普及事業 (10,077,000)

- ・演劇スタジオキッズコース APRICOT 通年(発表公演:夏季/春季)
- ・プレ・シアタートーク 通年

(3) 能楽事業 36,670,000 円

伝統様式の本格的な能舞台と劇場を活用し、子どもから一般までを対象とした普及に重点をおいた公演と、能狂言に対する知識や興味を高める能楽講座を開催する。

鑑賞事業 (32,554,000)

- ・春の能楽鑑賞会(宝生流) 2 回公演 平成 22 年 4 月 10 日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会(観世流) 2 回公演 平成 22 年 10 月 30 日(土)
- ・「野村万作・萬斎古典狂言公演」 3 回公演 平成 22 年 5 月 21 日(金)・22 日(土)
- ・「りゅーとぴあ劇場狂言」 2 回公演 平成 22 年 12 月 7 日(火)・8 日(水)
- ・能楽基礎講座特別版スペシャル公演「雪見能」 1 回公演 平成 23 年 2 月 12 日(土)

育成・普及事業 (4,116,000)

- ・能楽基礎講座特別版 3 回 平成 22 年 7 月 15 日(木)、9 月 5 日(日)、12 月 11 日(土)
- ・能楽基礎講座(山崎講座) 1 回 平成 22 年 10 月
- ・観世流能楽鑑賞教室(共催事業) 1 回公演 平成 22 年 9 月 25 日(日)
- ・能楽ワークショップ(囃子・狂言) 平成 22 年 6 月 4 日(土)・5 日(日)
- ・「さわってみよう能の世界」 1 回公演 平成 23 年 3 月

(4) 新潟発創造事業 112,481,000 円

専門ホールの特性を活用した新潟発の舞台芸術を創造し、全国に向けて発信する。

平成 22 年度は、りゅーとぴあ能楽堂シェイクスピアシリーズで、ルーマニア国際シェイクスピア・フェスティバルからの招聘を受け「ハムレット」~劇場版のルーマニア公演、併せてフランス公演を実施。帰国ののち、新潟で凱旋公演を実施。また、レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism は、Noism1 と Noism2 による合同公演を実施。朝日舞台芸術賞受賞・キリンダンスサポートによる見世物小屋企画の第 1 弾「Nameless hands」の再演を新潟、大阪、愛知などで行なう予定である。また、海外公演は年末にフランス公演を予定。研修生カンパニー Noism2 はレパートリー作品を持って市内の学校や各地域のホールでの幅広い活動を展開する。

- ・りゅーとぴあ 能楽堂シェイクスピアシリーズ「ハムレット」海外ツアー2010
フランス・パリ公演 2 回公演 平成 22 年 4 月 20 日(火)・21 日(水)

ルーマニア・クライオヴァ公演	1回公演	平成22年4月25日(日)
ルーマニア・ブカレスト公演	1回公演	平成22年4月28日(水)
・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism		
Noism1 & Noism2 合同公演 劇的舞踊「ホフマン物語」		
平成22年7月16日(金)～18日(日)		
見世物小屋企画第1弾 Noism1「Nameless hands」(再演)		
新潟公演		平成23年1月
大阪公演		平成23年1月
愛知公演		平成23年2月
高知公演		平成23年2月

- (5) 共催事業
 芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。
- ・第58回新潟市芸能まつり 平成22年10月～11月音文ほか
 - ・新潟歌舞伎みなと座 通年
 - ・「劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 平成23年1月9日(日)
- (6) 広報営業事業 25,516,000円
 公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ならびに、企業協賛の募集など広報・営業活動を効果的に行い、集客を図る。
 また、会館情報を積極的に発信し、会館の知名度とイメージアップを図る。
- ・広報・営業事業
 - ・音楽広報事業
 - ・演劇広報事業
- (7) 調査研究諸費 965,000円
 次年度以降の事業の企画立案のため、先進ホールや公演などについて調査する。
- (8) 事業企画諸費 11,634,000円
 音楽、演劇、舞踊等の各分野において、その専門家から指導・助言してもらい、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施する。また、専属オルガニストを引き続き設置する。
- ・芸術監督(音楽部門・演劇部門・舞踊部門)
 - ・専属オルガニスト
- (9) 事業管理経費 11,584,000円
 事業実施に係る管理諸経費(託児サービス、チケットシステム、コピー代、研修、郵便料金、他)。

2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 593,308,000 円

市民芸術文化会館管理事業

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

平成 22 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

コンサートホールの管理

劇場の管理

能楽堂の管理

ギャラリーの管理

スタジオの管理

練習室の管理

3 付帯事業 43,773,000 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

友の会の運営

ショップの運営

飲食サービスの充実

バックステージツアーの実施

- 1 文化事業(指定管理事業) 26,051,000 円
 「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。
- (1) 展示運営更新 334,000 円
 常設展示室にある情報機器の消耗資材を交換する。
- (2) 企画展示事業 12,915,000 円
 市民に身近な題材や市民にとって興味深い資料・地域等をテーマとした展示を3本開催するとともに平成23年度開催予定の企画展示の準備業務を行う。
- (仮称)「三芳悌吉『砂丘物語』原画展」 (3,224,000)
 開催期間 平成22年4月24日～6月13日 44日間
 三芳悌吉が新潟で過ごした幼少期の自伝「砂丘物語」の原画を、そこに描かれた景観・道具・人間関係・事象などに関する資料とともに展示し、大正期の新潟町の暮らしを紹介する。
- (仮称)「海峡を越えて - 佐渡と新潟 - 展」 (5,768,000)
 開催期間 平成22年7月17日～8月29日 39日間
 佐渡観光の移り変わりや新潟 - 両津航路の変遷、佐渡を訪問した文化人などについて展示し、明治以降の佐渡と新潟市との関りを歴史的に検証するとともに、佐渡の魅力を伝える。
- (仮称)むかしの暮らし展「お店屋さん」 (2,887,000)
 開催期間 平成22年9月11日～12月5日 71日間
 小学校の単元と連動した展覧会。顔見知りの売店・専門店で買い物していたころの商店や買い物・商売について展示し、現在の郊外大型店やスーパーマーケットの商売とのちがいについて勉強する。
- その他 (1,036,000)
 平成23年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)
- (3) 教育普及事業 991,000 円
 新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を購入する。
- 体験の広場事業
 小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔の暮らしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講座や大学生の実習受入れを行う。

講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・博物館講座 年 9 回
- ・夏休みこども講座 年 2 回
- ・民具講座 全 3 回
- ・館長講座 全 4 回

ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。また新規にボランティアとして活動したいと希望する人々の養成を行う。

(4) 施設普及事業 3,615,000 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

(仮称)活動展示「ほこりを払えば宝物展」の開催

開催期間 平成 22 年 12 月 18 日～平成 23 年 2 月 11 日

資料の持つ歴史的価値を発見する作業を展示し、資料・文化財保存の重要性を示す。資料からデータを取り、整理する作業などを理解できるようにするとともに、観覧者からいただいた資料の思い出や使用法などの情報も展示する。

収蔵品展・新収蔵品展の開催

新収蔵品展 開催期間 平成 23 年 2 月 19 日～3 月 6 日

22 年度に新たに収集したり、保管するようになった資料を紹介する。

収蔵品展 開催期間 平成 23 年 3 月 19 日～4 月 10 日

展示機会の少ない館収蔵資料をテーマを設けて展示する。

地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きを開催する。

(5) 調査研究事業 1,250,000 円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。22 年度は、当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地の暮らし」についての調査を重点的に行う。また、テーマ研究や新潟市の歴史文化に関する学芸員の専門的な成果を、市民に報告・還元し、広く評価を受けるため、研究紀要を刊行する。

- (6) 資料整理事業 6,946,000 円
寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

保存環境管理

歴史資料を長期保存するための環境整備。博物館収蔵庫、石庫、旧木場小学校、旧太郎代小学校敷地等に所蔵する資料が、少しでもよりよい状況で保存できるように収蔵施設及び展示設備の環境改善に努める。また、市内のほかの収蔵施設と協力する。

資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理するための基礎的データや資料活用するための詳細情報を調査・記録そしてデータベース化するとともに、資料の養生を行う。

- 2 文化施設管理受託事業(指定管理事業) 176,190,000 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)

旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)

屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

旧新潟税関庁舎

史跡(石段、石積み、石庫等)

- 3 付帯事業 905,000 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

物販等ショップの運営

自動販売機設置